

い  
ず  
も  
市  
議  
会  
だ  
よ  
り



新川桜土手(鳶巣地区)

●議会の動き	2	●施政方針質問	9
●委員会報告	3	●一般質問	13
●請願・陳情	7	●視察報告	19
●特別委員長に聞く	8	●編集後記	20



3月定例会市議会 報告

平成19年度出雲市一般会計予算など90議案を可決

3月定例会市議会では、執行部から87件の議案が提案されました。その内容は、「平成19年度(2007)出雲市一般会計予算」など予算案件35件、「出雲市個人情報保護条例」の一部改正などの条例案件30件、「公の施設の指定管理者の指定について」など19件、人権擁護委員候補者の推薦について意見を求める人事案件3件が提出され、すべての議案を原案のとおり可決しました。

また、議員提出議案として、「出雲市がん撲滅対策推進条例」「出雲市議会会議規則の一部を改正する規則」「出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例」の3議案を提出し、いずれも原案どおり可決しました。

平成18年度 第4回 出雲市議会(定例会)会期日程

開会 平成19年(2007)2月20日(火) 閉会 平成19年(2007)3月19日(月) 会期28日間

2月 20日(火) 本会議(開会、施政方針表明、議案上程・説明、採決)	8日(木) 総務委員会(1日目)
22日(木) 本会議(施政方針に対する会派代表質問・1日目)	9日(金) 総務委員会(2日目)
23日(金) 本会議(施政方針に対する会派代表質問・2日目)	12日(月) 文教厚生委員会
3月 2日(金) 本会議(一般質問・1日目)	13日(火) 環境経済委員会
5日(月) 本会議(一般質問・2日目)	14日(水) 建設水道委員会
6日(火) 本会議(一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託)	15日(木) 庁舎建設特別委員会
	19日(月) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)

出雲市がん撲滅対策推進条例を可決

3月定例会市議会初日、議員から「出雲市がん撲滅対策推進条例」が提案され、全員賛成で可決しました。

本市においては、がんによる死亡者数が全体の約3割を占めています。この条例は、本市のがん対策に関する各種施策を定め、地域のがん医療水準の向上や、がんの予防および早期発見の推進を図るため、がん対策を総合的かつ計画的に実施していくことを目的としています。

条例は全11条からなり、市はがん予防対策の推進や、がん検診の受診率の向上を図るために必要な施策および財政上の措置を講ずることなどを定めています。また、患者会などの活動を支援するよう努めることや、都道府県がん診療連携拠点病院について、その役割と市との連携強化および支援についても明記しています。

国においては「がん対策基本法」が、島根県においては「島根県がん対策推進条例」が制定されていますが、市町村レベルでは全国で初めて出雲市が条例を制定しました。今後は、この条例に基づき、がん撲滅に向けた取り組みを推進していきます。

# ◆常任委員会報告◆

## 「出雲阿國座」の設計と用地買収費を可決

総務委員会

総務委員会で審議した主なものを紹介します。平成十九年度一般会計予算では、大社門前町の中核拠点として全国に向け情報発信する施設「出雲阿國座」の設計と用地買収費、災害時の迅速かつ的確な住民避難に役立てるための出雲市八ザードマップ作成費、携帯電話・IP電話からの119番通報発信位置表示システム工事費、鷲巣コミュニケーションセンター・幼稚園複合施設建設費などがあり、いずれも原案のとおり可決しました。



出雲阿國座建設予定地の視察

## 青少年活動拠点施設先行取得事業を可決

文教厚生委員会

これを廃止する条例、福岡ソフトバンクホークスの和田毅氏からの寄付金をもとに、青少年のスポーツ活動に充てるための基金を創設する条例などがあり、原案のとおり可決しました。

平成十九年度一般会計当初予算のうち、債務負担行為で、青少年活動拠点施設先行取得事業が計上されました。



先行取得される古民家

これは、出雲市土地開発公社が塩冶町にある敷地面積二千二百九十五平方メートル、延べ床面積六百四十二平方メートルの土地と家屋を先行取得。その後、市が買い取り、囲碁・将棋や茶道、華道などの青少年活動拠点施設として整備するため、債務負担行為と

して七千百万円を計上するものです。委員からは、「財政難のあり、具体的な整備計画が示されない中で民間の土地を取得する理由が不明である」

「出雲文化伝承館など、既存の施設の活用を図るべき」といった反対意見が出された一方、「歴史的、文化的価値がある土地・家屋であり、購入すべき」との意見も出されました。

審査の結果、「青少年活動拠点施設」について、市民が納得できる具体的な整備計画を早期に示すべきとの意見を付して、原案のとおり可決しました。

## 水産物流拠点施設整備事業を審議

環境経済委員会

本委員会に審査の付託を受けた案件は、平成十九年度一般会計予算をはじめ議案十一件でした。審査した結果、すべての議案について、原案のとおり可決しました。

審査の中で特に議論となったものは、大社漁港に計画されている「水産物流拠点施設整備事業」です。施設の概要、立地場所、運営方法、JFしまねとかかわりなどを活

発に議論しました。水産物流拠点施設の運営形態、位置の問題、産地市場・消費者市場・レストランのあり方、

審査の中で特に議論となったものは、大社漁港に計画されている「水産物流拠点施設整備事業」です。施設の概要、立地場所、運営方法、JFしまねとかかわりなどを活



定置網漁業(大社町)

公有水面の埋め立ての位置、JFしまねのかかりなど、執行部に対し計画のさらなる検討を求めました。今後も、十五万都市にふさわしい水産物流拠点整備事業となるように、審査・検討していくこととしました。

また、松くい虫対策事業について、空中散布の薬剤による健康被害への心配が市民にあつた場合の適切な対応と、将来に向けて樹種の転換を含めた再検討を求める意見がありました。

### 大社神門通り広場・交通広場整備予算を可決

建設水道委員会

本委員会に付託を受けた案件は、平成十九年度一般会計予算をはじめ、議案十九件、請願・陳情二件でした。

平成十九年度一般会計のうち、歳出の主なものは駐車場事業、簡易水道事業、農業・漁業集落排水事業の各特別

また、松くい虫対策事業について、空中散布の薬剤による健康被害への心配が市民にあつた場合の適切な対応と、将来に向けて樹種の転換を含めた再検討を求める意見がありました。



整備が急がれる市道船津所原線

費では地方道路改修事業、神門通り広場・交通広場整備事業、生活環境道路改良事業、神戸堰（せき）管理橋橋りょう整備事業、生活環境下水路改良事業、街路事業、下水道事業特別会計繰出金、市営有原住宅・市営上分住宅建替事業などが計上されています。審査の結果、原案のとおり可決しました。

次に雲市手数料条

例ほか三件の、条例の一部改正については、いずれも原案のとおり可決しました。

また、市道船津所原線（鐘築）山奇農免道交差点間）の整備を求める請願、一般県道出雲平田線の早期改良整備についての陳情は、現地視察を行い、請願者、陳情者および執行部から説明を受け、いずれも採択しました。

## 特別委員会報告

### 中央病院跡地を十六億円で取得

庁舎建設特別委員会

付託案件に対する

平成十九年度予算では、十八年度から始まっている新庁舎の基本設計および実施設計経費と、隣接家屋の調査費などが計上されました。

また庁舎建設用地と庁舎に隣接して建設する中央広場（仮称）用

地として、県立中央病院跡地を取得する議案も提案されました。これは、一部道路を含む総面積二万三千八百五十平方メートルを、総額十六億円あまりで取得するものです。いずれも原案のとおり可決しました。

## 特別委員会報告

### 「百年の大計」斐伊川・神戸川治水事業の推進を

斐伊川・神戸川治水対策特別委員会

この間、平成十八年七月には豪雨災害が発生し、神戸川では三名の命を失うことになったほか、住宅・農業施設などに未曾有の被害が発生

本委員会は、平成十七年度に合併後の初委員会を開催し、平成十八年度には、九回の委員会を開催しました。

しました。公共施設にいても、道路、橋りょう、用排水路など多大な被害を受けました。本委員会では、災害発



工事が進む斐伊川放水路事業



生後に、被害状況把握と被害発生要因調査、今後の対策などを検討しました。来島ダムや志津見ダムなどの現地視察などを実施し、神戸川の被害状況調査、原因究明に努めました。神戸川は、昨年八月に一級河川に指定されています。国の事業として早急に全線の抜本的改修を行い、このよ

一畑電車の利用促進を

交通対策特別委員会

本委員会は、一畑電車の支援策、バス交通システムの構築などについての調査を目的として設置されました。

一畑電車の利用客は、昭和四十二年度の五百八十九万人をピークに減少を続け、近年は約百五十万人で推移しています。

しかし、いわゆる交通弱者にとって欠かせない公共交通機関であり、環境面にもすぐれた社会基盤であることから、地域住民が一体

うな災害が二度と起こらないようにしたいという思いを強くしています。

「百年の大計」でもある斐伊川・神戸川治水事業は、新出雲市において最も重要な施策の一つです。この事業が、国・県との連携のもと、確実に推進されることを強く望みます。

となつて、一層利用促進を図っていく必要があります。昨年二月には松江市議会と「一畑電車沿線議員連絡協議会」を設立しました。

平成十八年度以降の一畑電車への新しい支援については、従来の欠損補助による支援制度を廃止し、行政側は設備事業費としての補助を、会社側は鉄道運行業務に特化する、いわゆる「上下分離方式」で電車の運行を行っていくことになりました。

七月 豪雨災害時の脱線事故に際しては、現場を視察し、一畑電車(株)の昌子社長から今後の安全対策について説明を受けました。

十月には福井県の「えちぜん鉄道」を視察しました。社長の強力なリーダーシップのもと、会社一丸となった取り組みがなされています。今後の一畑電車の活性化の参考となる視察となりました。

本委員会に付議されている観光戦略の中で

新市観光のかなめ、大社門前町の整備

観光・産業振興特別委員会

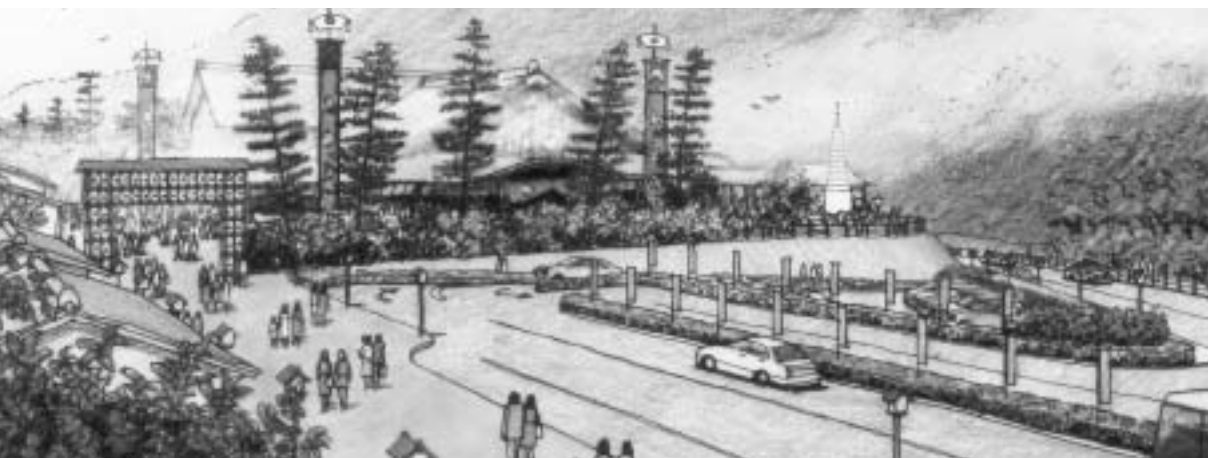
も、大社門前町整備に重点をおいて調査を重



交通弱者にとって欠かせない一畑電車

ねました。平成十七年度は、新市の観光政策の現況と課題を把握するために市から説明を受けました。同年八月に発足した二十一世紀大社門前町開発調査検討会には、議会からも参画し、門前町再生整備および出雲阿國座創設についての提言がなされました。提案に対し、阿國座の建設予定地、駐車場を含めた交通体系、総事業費などが議論されました。

十八年



基本設計のプロポーザルで提案された出雲阿國座(仮称)のイメージ図(実際の設計とは異なります。)

度は、市執行部においても、組織を横断したプロジェクト推進本部が設置され、事業の進

行が図られました。実施に向けた計画を協議していく中で、個々の事業だけでなく、全体的な計画提示を求める意見が出され、本委員会と総務委員会との合同協議会を開催しました。あわせて、具体的な事例調査のため、先進地視察も実施しました。委員会では、財政問題、市民への説明の必要性が指摘されるなど、具体化に向けてはさらに十分な議論を尽くすべきであると考えています。

### 新庁舎、平成二十年十二月竣工を決議

#### 庁舎建設特別委員会

本委員会は、庁舎建設にかかる調査のため、平成十七年六月議会で設置、以降二十八年にわたり特別委員会や協議会などを開催しました。昨年六月までは特に建設用地の選定に関し集



新庁舎建設が予定されている県立中央病院跡地

中のに審議・検討しました。用地選定では、JA用地を含め現庁舎敷地を拡張して建設する案、県立中央病院跡地に建設する案について比較、検討し、昨年三月、県立中央病院跡地が望ましい」とする報告を行いました。

一方、執行部では、各種団体の代表者などによる「新庁舎建設調査検討会議」からの報告を受け、昨年六月建設用地を県立中央病院跡地に決定する旨の発表がされました。建設

### 災害に強い道路整備を要望

#### 国道対策特別委員会

平成十七年度には、東北整備局の「能代河川国道事務所」と「秋田河川国道事務所」において高規格幹線道路の整備状況とインターチェンジ周辺開発、環境に配慮した道路建設などについて視察しました。

平成十八年度は、北陸地方整備局の「富山

スケジュールについては一昨年十二月、「庁舎建設促進に関する決議」を議決、「平成二十年十二月竣工を目的に建設すること」を求めています。執行部では工期の短縮策を含めプロポーザル方式で業者選定を実施し、昨年十一月に設計業者が決定し、現在基本設計が進められています。

委員会では、庁舎建設事業は新出雲市の歴史に見ても重要な事業であり、引き続き慎重に審査をしていきます。

河川国道事務所」で高規格幹線道路の整備状況と「道路マネジメント」について視察しました。

昨年七月の豪雨災害では、多伎町地域の国道9号でのり面が崩落し、三十五時間の全面通行止め、約八十日間におよぶ交通規制がなされました。

その結果、地域唯一の東西交通が寸断され、住民生活に多大な影響を与えました。あらためて国道9号のう回ルートの整備が望まれます。

当委員会で是被害確認のため現地視察を行い、国・県に改良整備の促進と災害に強い道路整備の要望書を提出しました。議事では、道路特定財源の一



豪雨災害で寸断された国道9号(多伎町)

### 出雲弥生博物館の規模決定

#### 主要施設調査特別委員会

「出雲弥生博物館仮称」建設」について、基本計画はほぼ完了し、平成二十一年度に関



施設は、鉄骨二階建て、延べ床面積二千七百四十四平方メートルで、これに對する建設工事費は、十億円との報告がありました。体験コーナーや図書情報コーナー、また、日常的な復元作業がガラス張りで見学できるなど、市民が楽しみながら文化財に親しめるように、そして、施設を有効に無駄なく使えるよう創意工夫がなされています。

今後、進められる実設計において、全国的にも特に割高になるという展示設備や内装については、特定の業者にこだわらず、地元業者での対応も十分に検討され、できるだけ安価なものを選定されるよう求めました。先に開館した県立古代出雲歴史博物館をはじめとする近隣の類似施設との区別化と、有機的な連携により、多くの人が訪れる魅力ある施設となることを期待します。



福岡県小郡市埋蔵文化財センターの展示室を視察

## 請願・陳情の審議結果

### 【請願】

請願番号	件名	提出者	審議結果
5	市道船津所原線(鐘築～山寄農免道交差点間)の整備を求める請願	出雲市稗原町2859 市道船津所原線改良促進期成同盟会 会長(稗原地区自治協会会長) 矢野 克夫 他4名	採択 (賛成全員)
6	塩冶コミュニティセンターの建物増築及び駐車場を求める請願	出雲市塩冶町803-2 塩冶自治協会 会長 須山 泰則	採択 (賛成全員)
7	住民の暮らしを守り、安全・安心の公共サービス拡充を求める請願	松江市母衣町55 島根県労働組合総連合 議長 多賀 三雄	不採択 (賛成多数)
	<b>なぜ不採択</b>	公共サービスの民間開放や公務員の削減は、単に公共サービスの低下を招くことにはならず、むしろ民間活力を活かすことにより、公共サービスの向上が期待できると判断しました。	
8	リハビリテーション医療の日数制限撤廃の意見書採択を求める請願	松江市嫁島町9-35 島根県保険医協会 会長 古沢 正治	継続審査 (賛成多数)

### 【陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
29	管工事における分離発注及び地元企業への優先発注を求める陳情	出雲市荻野町291-1 出雲管工事業協同組合 理事長 加藤 幹夫	趣旨採択 (賛成全員)
30	出雲大社野球場の代替地の確保と整備を求める陳情	出雲市大社町杵築東426-1 大社野球スポーツ少年団 代表 新田 秀幸 他2名	採択 (賛成多数)
31	一般県道出雲平田線の早期改良整備についての陳情	出雲市荻野町211 県道出雲平田線改良促進協議会 会長(川跡自治協会会長) 佐藤 義太 他1名	採択 (賛成全員)
32	子どもの医療費助成制度の拡充を求める陳情	出雲市古志町791 新日本婦人の会出雲支部 支部長 景山 祐子	趣旨採択 (賛成全員)
33	総合医療センターの整備計画の早期実現を求める陳情	出雲市万田町691 平田地域自治協会連合会 会長 荒木 國夫 他2名	継続審査 (賛成全員)

### 【継続審査中の陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
7	「21世紀出雲神話観光大国の創造 = 大社門前町開発事業」出雲阿國座(仮称)の創設・泉源活用事業等の推進についての陳情	出雲市大社町杵築北2740 大社町町内会長連合会 会長 入江 紀久男 他26名	採択 (賛成多数)
26	西田地区楽焼作業場の一部借用による西田・北浜・鱒淵地区合同児童クラブ開設及び通所手段の配慮についての陳情	出雲市万田町19 3地区合同児童クラブ設立準備委員会 会長 小片 久夫 他3名	採択 (賛成全員)

# 主要施設調査特別委員長に聞く 弥生博物館は適正規模で

主要施設調査特別委員会 山代 裕始 委員長

(聞き手 広報委員 大国陽介 とき 平成十九年三月二十六日 場所 出雲市役所)

大国 主要施設調査特別委員会は、どのような経過で発足したのですか。

山代 本特別委員会は、西谷墳墓群近くに計画されている出雲弥生博物館をはじめとす

る、おおむね総事業費十億円以上の施設についての調査を目的として十五名の委員で設置されました。

昨年三月定例会において、出雲弥生博物館の予定地を取得する

予算が計上され、これを審査した総務常任委員会、施設の規模や活用方法などについて、旧出雲市時代から構想

されていた内容と大きく変わっていることが判明しました。

合併後、さまざまな事業展開がされる中にあって、こうした大型施設の建設には、今後の財政負担も含めて極めて慎重な対応が必要であり、本施設のみならず、今後計画される事業について調査を行うこととして、本特別委員会は設置されました。

合併前の旧出雲市の計画では、延べ床面積三千平方メートル程度とされていまして、委員からは「これほどまでに大きな施設が果たして必要なのか」「どこまでの機能を備えるべきか」などの意見が出されました。

「学校は忙しく、博物館に行くことは厳しい。現場の声をよく聞くべき」「財政状況が厳しいなか、事業費的にも大きいし、なぜ今なのか」ということが伝わってこない」などの意見があがりました。

そして、授業の一環として、児童生徒を受け入れることについては、「社会科の授業のために本施設へ学校から通うことは認め難く、総合学習などでの活用が図られることが望ましい」、施設については「延べ床面積は三千平方メートル以内とし、建設事業費については当初計画の十二億円に

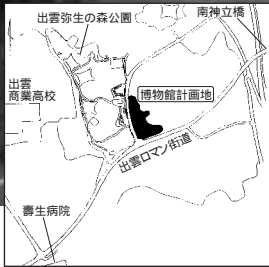
行いました。結果、この報告に基づいた形で基本設計が行われ、博物館機能と文化財センター機能を併せ持ち、延べ床面積は二千七百四十四平方メートル、建設工事費は約十億円の施設となりました。

大国 今後、どのようなことを望まれますか。

山代 維持管理費や展示設備などのコスト削減にさらなる工夫を求めていきます。この施設の目的が十分に達成でき、多くの市民に活用されること、また、県立古代出雲歴史博物館をはじめとする近隣の類似施設との差別化、地域との協同や連携も含め、全国に誇れる魅力ある施設となることを期待します。



出雲弥生博物館(仮称)建設予定地



大国 弥生博物館について市から示された計画はどのようなもので、それに対して委員からはどんな意見が出されましたか。

山代 昨年の三月定例会で出された基本設

計では、軽食・喫茶・売店などのスペース、学校授業の一環として児童生徒を受け入れるための多目的室、発掘された遺物の収蔵庫などが盛り込まれ、延べ床面積は、三千五百平方メートルから四千平方メートル、事業費十五億円程度で、土地の取得費を除いた建物の建設費が十二億円程度との説明がなされました。

山代 維持管理費や展示設備などのコスト削減にさらなる工夫を求めていきます。この施設の目的が十分に達成でき、多くの市民に活用されること、また、県立古代出雲歴史博物館をはじめとする近隣の類似施設との差別化、地域との協同や連携も含め、全国に誇れる魅力ある施設となることを期待します。



山代特別委員長



# 市長施政方針について各会派代表者が質問!

平成十九年二月二十日の本会議初日、平成十九年度の市政運営の基本方針と重点施策について、市長から説明がありました。  
これに対し、十会派から代表の議員が一名ずつ次のような質問を行いました。その中から、一人一問ずつ選んで掲載しています。内容は、質問した議員自身が要旨をまとめたものです。  
(印のもの)

平成クラブ 牛尾 尚義

## ◎二十世紀出雲林業3F事業を問う

- 二十世紀産業都市の創造について
- 二十世紀出雲神話観光大国の創造について
- 二十世紀都市・交流拠点の創造について
- 二十世紀人材育成都市の創造について
- 行財政改革について



林業3F(フロンティア・ファイティング・ファンド)を新たに創設し、間伐、作業道整備、林業機械購入などへの支援を行うとのことであるが、これはハード事業のみを対象とするものか。今求められているのは、むしろ低迷している木材の需要喚起、販売促進、後継者育成などのソフト面への支援ではないか。

例えば森林組合が四十歳以下の若年層を対象に実施している「新規参入促進対策事業」は、

県の「緑の担い手育成基金」から助成がなされているが、市からの助成はない。県と連動して実施すれば一層効果的ではないか。

市長 3F事業は、日本語としては「新施策活動助成金」ということになると思います。

たしかにここではハード事業を挙げていますが、木工教室の開催助成も考えています。

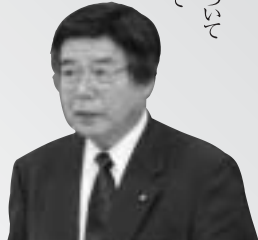
まず初年度の実績を見ながら、さらに充実策を検討していきたいと思えます。林業についても農業や漁業と同様に後継者育成の問題があり、林業がやりがい

のある産業だという認識が高まるように、これから助成していかなければならぬと思っています。県が提唱している「グリーンマイスター制度」「緑の担い手育成基金」は、財源が乏しく、3F事業はこれに代わるものとして市が自ら立ち上げるうとするものです。

政雲クラブ 山代 裕始

## ◎市政フォーラムの運営の見直しを

- 基本姿勢などに対する考え方
- 二十世紀産業都市の創造について
- 二十世紀出雲神話観光大国の創造について
- 二十世紀都市・交流拠点の創造について
- 二十世紀環境先進都市の創造について
- 二十世紀人材育成都市の創造について
- 二十世紀健康文化都市の創造について
- 行財政運営の基本的な考え方について



市長は、合併以来、市内全域三十八会場で市政フォーラムを開催し、地域の身近な要望などを住民から直接聞かれました。おおむね地域事情は明らかになつてきたと思う。今後の開催にあたり、幹部職員が全員出席される必要があるのか、また、地域要望については市長と住民が一問一答方式で行う陳情のよ

うな形ではなく、地域のテーマを地域住民が討論し、それに対し行政が助言するなど、住民のまちづくりに対する力を引き出すようなフォーラムの方式に見直し、転換する考えはないか伺う。

市長 市政フォーラムは、合併後最初の二、三年は、どういう地域課題があるか、また、直接訴えたい方も多く、直接お会いしました。いろいろなご意見を謙虚に伺うことが、私の対話と交流行政の基本です。今後とも、このフォーラムを強力にや

つていく考えです。

その上で、提案型や、特別の行政課題を協議するためのフォーラムとしても考えていきます。

また、要望などを予算化し実施するときは議会にお諮りし、また、請願・陳情もあ

るので、その地区の要望をどのように取り上げるのか協議していただきたく考えています。

市の幹部職員も住民の生の声を直接聞くことにより、市役所の中だけの仕事にならないよう、今後ともこの形でやらせていただきます。

明政クラブ 長岡 幸江

◎少子化の要因・実態をふまえての対策を！

- 二十一世紀人材育成都市の創造について
- 二十一世紀環境先進都市の創造について
- 二十一世紀健康文化都市の創造について



少子化対策の総括課題である安心して子どもが生み育てられる環境づくりについて、全体を包括した視点から共生を原点においての行政の支援策・対応、地域社会との連携・協働、企業とのパートナーシップなどの施策についての取り組みを伺う。

また行政の支援対応は、確たる実態、将来推計を踏まえた上での施策展開であるべきと考えるが、保育所の整備充実、経済支援など、努力はされているが出生率の向上が見られず将来が懸念される。

子育てに係る経済負担を要因に、自己中心的な考え方で安易に判断され、子育てをする本来の感性が失われつつある傾向に対応し、

家庭・国の宝である子どもを生み育てることは大きな社会貢献としてとらえ、何が出生を妨げているか真摯（しんし）に検討すべきと考えるが、所見を伺う。

**市長** 子育て支援に関する調査は実施しています。病後児保育、一時保育、休日保育の体制づくり、企業や勤め先の子育て支援策の充実などが指摘され、中でも児童手当などの経済的支援が七割以上と厳しい状況です。

これからは、企業の方々が重要で、関係団体との協議の場として子育て支援、男女共同参画の推進、少子高齢化対策などを考える市民協議会を設け、具体的な行動をさらに明確に打ち出し進まなく

てはと思っています。

市民クラブ 高野 成俊

◎森林再生と松くい虫防除の空中散布を問う

- 二十一世紀産業都市の創造について
- 二十一世紀出雲神話観光大国の創造について
- 二十一世紀人材育成都市の創造について
- 二十一世紀健康文化都市の創造について
- 市の財政について



松くい虫防除の空中散布については、農薬の空中散布が人体に影響があるなど、厚生労働省からも警鐘が鳴らされている。昨年、群馬県では、研究家の成果から人体への影響について報告がされ、知事から有機リン系農薬の空中散布の自粛要請が出された。また、大社町の中山地区、平田の唐川地区では何年にもわたり空中散布を続けていた地域が、結局完全に松枯れしてしまい、昨年は中止した実態もある。

空中散布については一定の効果は認められるものの、人的な影響はも

とより、費用対効果の面からも、ほかの自治体の研究成果もふまえ、樹種転換を図るなど森林再生事業の方へ力を入れるべきと考えるがどうか。

**市長** 空中散布による人的被害については健康上の被害の問題、いろいろご指摘いただいています。現在、市においては事前通告や実施地域への一定期間の立ち入り抑制などの対応をしています。また使用薬剤については、人や家畜などに対して毒性の低いスミバインマイクロナプセル剤で散布回数も従来の年二回から年一回としてい

ます。関係地域にはチラシなどを配り周知徹底を図って、交通規制

も行いながら今後もやらなければならない事業だと思っています。

河南クラブ 坂根 守

◎農業振興を問う

- 産業基盤の整備を早急に
- 水産業振興について
- 少子化対策・子育て支援について



農業振興、特に米政策と特産品振興について伺う。

J A いずもの生産額第一位は米であり平成十七年産は二十三億六百万円である。しかしながらコシヒカリの一等米比率が平成十八年産で一六％と低く、J A では品種転換を図りキヌムスメの作付け面積を拡大するよう推進している。市としてどのような支援策を考えているのか。

県内最大産地のぶどうの生産額も毎年減少している。今回大粒系新品種の導入とあるが、品名は何か。また出雲地方の土壌や気候に適しているのか伺う。

**市長** J A いずも

管内のコシヒカリの一等米比率は平成十七年度は三六・六％でしたが、平成十八年度は一六・三％に激減しました。県内でも一等米比率は最低の水準になっています。

原因は地球温暖化の影響だけとは思えませんが、新しい品種のキヌムスメを奨励しています。平成十八年産の一等米比率は七六・一％でした。3 F 事業で種もみ、苗箱に補助を行い、スムーズな品種転換を図りたいと考えています。

「シャインマスカット」を奨励していきたくないと考えています。デラウェアと同じくらいの品質で、大きくジュ



「シーだということ  
す。  
出雲地方における裁  
培技術の研究・増産に  
向けての指導をしてい  
く考えです。」

大社クラブ 古福 康雅

◎二十一世紀出雲神話観光大国の  
創造に向けて

- 出雲水産交流プラザ建設について
- 出雲神在月文化月間(仮称)の内容について
- 二十一世紀都市・交流拠点の創造について
- 大社学校給食センターの今後について



「ご縁広場の整備事業  
に、企業誘致におよ  
びホテル誘致への取り  
組み状況は。また、駐  
車場増設計画の進ちょ  
く状況について伺う。  
出雲阿國座の基本設  
計作業もほぼ終わつた  
ようだが、早く規模、  
機能などの基本方針を  
市民に公開し、理解と  
賛同を得るべきと考  
えるが。」

市長 集客性の高

「い物販売のサービス  
業や、外湯の機能を備  
えたホテルの誘致が可  
能か、また、誘致に必  
要なご縁広場周辺での  
駐車場の拡張、確保に  
向け地権者および地元  
の関係者の皆さまと鋭  
意協議を進めています。  
いよいよ図面とその  
姿を明らかにし、地元  
の協力の輪、人と人と  
の輪をさらに整え、全  
国に輝く日本の古典芸  
能の発信の場としてい  
きます。特に、並行し  
て運営・管理の仕組み  
ソフトの中身こそ建物  
を建てる以上に重要で  
あり、地元の皆さんに  
喜んでもらえる施設づ  
くりを努めます。」

「撤去後の跡地は、緑  
の休憩スペースを整備  
し、灯台周辺の散歩道  
の修景舗装を行い安ら  
ぎと潤いの空間整備を  
行います。また、ホテ

新生出雲 珍部 全吾

◎一畑電車の活用を考える

- 二十一世紀産業都市の創造について
- 二十一世紀出雲神話観光大国の創造について
- 二十一世紀都市・交流拠点の創造について
- 二十一世紀環境先進都市の創造について
- 二十一世紀人材育成都市の創造について
- 二十一世紀健康文化都市の創造について



「ル誘致については、ど  
ういう形の宿泊施設が  
良いのかなど、地元関  
係者の方々と十分協議  
します。」

「一畑電車には、出雲  
市をはじめ関係自治体  
が補助金を出している  
が、このまま赤字が広  
がる、廃止の恐れも  
ある。少子高齢化が進  
むなかで、逆に「宝」  
として、資産として活  
用する方法を考えては  
どうか。」

「とにさまざまな施設を  
つくってはどうか。  
例えば、川跡駅には  
カラオケボックス、武  
志駅には焼き鳥屋、大  
津駅には回転ずしとい  
つたように、高齢者に  
とって魅力ある沿線の  
まちづくりを進める考  
えはないか。」

「十一世紀型交通手段と  
して、必ず愛用される  
時が来ると思っています。  
そつした観点からも、  
上下分離方式がルール  
化されたなかで、線路  
など基盤については、  
県や松江市とともに今  
後とも継続して支援を  
していきます。」

「ただ、一方で経営主  
体である一畑電車にも  
一層の経営努力を働き  
かける考えです。例え

「ば、利用者にもつと存  
在感を高めるため、要  
所所でキャンペーン  
なり宣伝に力を入れて  
アピールしていただく  
こと。また、車両の改  
良ないし取り替えにつ  
いて、現在の車両だけ  
でいいのか、新しい車  
両を入れてスピードア  
ップをはかる必要はな  
いのか、などの点につ  
いて検討をお願いする  
考えです。」

公明党 勝部 順子

◎出雲市立総合医療センターの  
改革は市民の目線で

- 国立公園日御碕・立久恵峡の活用策について
- 公共交通ネットワークの構築について
- 環境先進都市の創造について
- 少子化対策・子育て支援について
- 母子保健について
- 行財政改革について



「今、累積債務や医師  
不足などで、存続の危  
機にある自治体病院が  
ある一方、公設民営化  
などの経営改革を断行  
し、再生した病院もあ  
る。」

「施設整備の計画案が示  
されたが、多額の建設  
費が原因で赤字運営に  
陥っている自治体病院  
も多い。  
次世代の人たちに負  
担を押し付けてはなら  
ない。専門家の意見を  
取り入れ改革すべきだ。  
経営の健全化、医師・

看護師の確保、今後の取り組みについて伺う。

**市長** 現在、専門医師の数が岡山大学系から島根大学系への移管期で、四月から急速にまた立ち上がる予定です。古くなつた病棟については改修する計画です。コストも抑え、多額の経費をかけたことで経営難にならないようにします。

議会の調査結果や提言など大事にし、貴重な政策立案の資源として改革努力を重ねます。しかし基本的に自ら考え、行動し、人まねでなくがんばります。

前回示された金額が高額で驚いている。また、四月からの医師の確保についても大変心配している。大学を信じないわけではないが、医師がずっといられる保証はない。

**市長** 大学と地域自治体のあり方はずっと考えています。総務省・自治省の反対を押し切り市から国立大学に財源補てんをしてきました。この信頼関係があれば絶対大丈夫です。医師が集まり、病棟もきれいになれば、看護師の応募も増えます。

必要とされているが、出雲市では特例基準が適用され、集落営農組織が中山間地で十ヘクタール以上、一般地域で十二・八ヘクタール以上、認定農業者が全域で二・六ヘクタールとなっている。

これは、要件に満たない多数の中小零細農家や、山地を政策対象から外すものであり、関係者からは不安やとまどいの声が上がっている。農業政策は、大規模化や農家選別を押し付けるのではなく、意欲のある農家すべてを大事にすることこそ必要である。自治体に求められるのは、農家の意欲を引き出し、農

**日本共産党 大國 陽介**

◎規模の大小にかかわらず、安心して農業が続けられる施策を

- 二十一世紀産業都市の創造について
- 二十一世紀出雲神話観光大國の創造について
- 二十一世紀健康文化都市の創造について
- 行財政改革について



「品目横断的経営安定対策」は、中小規模の農家を、農業政策の対象から外してしまうものであり、到底容認できない。

「対策」の対象となるためには、原則として個別経営の認定農業者で四ヘクタール以上、集落営農組織で二十ヘクタール以上の規模が

必要とされているが、出雲市では特例基準が適用され、集落営農組織が中山間地で十ヘクタール以上、一般地域で十二・八ヘクタール以上、認定農業者が全域で二・六ヘクタールとなっている。

**市民新風会 板倉 一郎**

◎二十一世紀環境先進都市の創造を

- 出雲ルネサンスの決意について
- 市政フォーラムについて
- 二十一世紀産業都市の創造について
- 二十一世紀出雲神話観光大國の創造について
- 二十一世紀都市・交流拠点の創造について
- 二十一世紀人材育成都市の創造について
- 二十一世紀健康文化都市の創造について
- 行財政改革について



来原住宅跡地におい

て、民間の技術や資力

業をこれからも続けて行くことができるような施策である。「品目横断対策」に対する市長の所見を伺う。

**市長** 農林水産省などは、国家戦略として国際的な貿易に対応できる農業の生産性が肝心としています。しかし、身近な食育の環境や健康の基礎としての食生活の安定、地産地消などをどう考えるかということも重要です。

今後とも全国市長会あげて取り組まなければならない課題であり、出雲市は出雲市なりの農業助成策をもつて対応していきたいと考えています。

を活用した分譲住宅とは、どのようなものか伺う。

民間施設におけるアスベストなどの除去の補助制度は、どのような制度か伺う。また、出雲市内で、アスベストを使用している施設がどのくらいあるのか伺う。

期待しているところでは、国土交通省と県の支援事業を活用し、市が民間施設の吹き付けアスベストなどの除去に対し補助します。対象となる建物は、店舗・ホテル・病院などで、補助の限度額は七百五十万円で、負担割合は国が三分の一、県と市がそれぞれ六分の一、事業者が三分の一です。

**市長** 来原住宅については、平成十八年十月に入居者の退去がすべて終わり、その用途を廃止したところでは、一戸建て住宅として整備する方針としており、市が直接開発するのではなく、宅地建物取引業の皆さんに開発計画の提案を求め、優良な分譲地として開発していきたいと考えています。現在、募集要項をまとめつつあり、良好な住宅づくりに民間の発想、アイデアを

昭和三十二年以前に建築された百平方メートル以上で、多数の人が利用する三百四十施設を聞き取り調査した結果、アスベストが確認されたもの、分析調査はしていないが、使用されている恐れのある施設は、四施設です。今後、支援制度を周知徹底し、実施に持っていきたいと思えます。

を活用した分譲住宅とは、どのようなものか伺う。

民間施設におけるアスベストなどの除去の補助制度は、どのような制度か伺う。また、出雲市内で、アスベストを使用している施設がどのくらいあるのか伺う。

民間施設におけるアスベストなどの除去の補助制度は、どのような制度か伺う。また、出雲市内で、アスベストを使用している施設がどのくらいあるのか伺う。

民間施設におけるアスベストなどの除去の補助制度は、どのような制度か伺う。また、出雲市内で、アスベストを使用している施設がどのくらいあるのか伺う。

民間施設におけるアスベストなどの除去の補助制度は、どのような制度か伺う。また、出雲市内で、アスベストを使用している施設がどのくらいあるのか伺う。

議会議傍聴にいらしゃいませんか

**本会議の傍聴**

議会には、年4回(3月、6月、9月、12月)開かれる定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があります。

本会議は公開でおこなわれるため、自由に傍聴できます。お気軽にお出かけください。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



# 市政のここが聞きたい

## 一般質問

3月定例会市議会では13人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで(◎印のもの)掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

### 板倉 明弘 議員 (14ページ)

- ◎公共工事の入札制度について
- 中国技術研修生受入事業について

### 多々納 剛人 議員 (14ページ)

- ◎出雲市のがん対策について
- 自衛隊出雲駐屯地人員削減について
- 次世代を担う児童・生徒育成に対する地域のかかわり方について
- 一畑電車踏切改良について
- 自治集会所設置補助について

### 米山 広志 議員 (14ページ)

- ◎青少年活動拠点施設先行取得事業
- 出雲市建設発生土改良センター
- 教育施設のケーブルテレビの設置

### 萬代 弘美 議員 (15ページ)

- ◎安心して子育てできる実効ある施策の実施について
- 市民の立場に立った親切的な生活保護行政について
- 7月豪雨災害被災者への支援の拡大について

### 原 隆利 議員 (15ページ)

- ◎出雲市立総合医療センターについて
- 斐伊川の潜水橋および河川管理について
- いわゆる「箱物」の定義について

### 杉谷 寿之 議員 (16ページ)

- ◎水産物流通拠点施設整備について
- 有害鳥獣被害対策について
- マリーナ、フィッシャリーナの設置について

### 遠藤 力一 議員 (16ページ)

- ◎指定管理者制度導入その後の問題について
- 電子自治体への取り組みと目標
- 事業仕分けの実施を望む
- 大社町の飛び砂被害と里浜づくり

### 曾田 盛雄 議員 (16ページ)

- ◎「21世紀産業都市の創造」について
- 教育行政改革について
- 公共施設、市道の改修について

### 福代 秀洋 議員 (17ページ)

- ◎北山のシカ対策について
- 自治協会・自治会への加入促進
- 水素社会プロジェクト
- 高度情報通信社会の実現

### 山根 貞守 議員 (17ページ)

- ◎出雲市コミュニティセンター運営事業について
- 防災対策について

### 長廻 利行 議員 (18ページ)

- ◎21世紀出雲神話観光大国の創造について

### 石川 寿樹 議員 (18ページ)

- ◎入札制度の改革
- 低所得世帯に対する児童クラブ利用料の全額減免と発達障害児に対する委託料の加算について

### 松村 豪人 議員 (19ページ)

- ◎沿岸地域の漁業に影響をおよぼす「磯焼け」について早急な対策を

板倉 明弘

早期に一般競争入札の全面導入を

昨年、公共工事をめぐる不祥事で逮捕者が出るなど、公共工事入札制度の信頼を大きく失わせる状況である。

国は談合防止策として、指名競争入札を廃止し、一般競争入札を全面導入することを求めている。県は、この指針に従い新年度から一千万円以上の工事に一般競争入札を導入する改革案を示している。本市は、新年度から、

より透明で競争性の高い入札制度に改めていくとしているが、この程度の改正では、公正な競争を確保するにはほど遠いと考える。

十七年度、十八年度の一般競争入札の実施件数および落札率、また、新年度に新入札制

度を適用する工事金額と発注割合を伺う。

**市長** 一般競争入札は、十七年、十八年度に対象と成りうる工事は三件ありましたが、一件も行っていない。落札率は、平均で十七年度は九六%、十八年度は九五・六三%です。

新年度から談合しにくい制度の一つとして、事後審査型の一般競争入札を郵便方式により試行します。

対象の工事として土木工事が五千万円以上一億五千万円未満のうち半数、建築工事は、三千五百万円以上三億円未満の全体を予定しています。なお、参加資格の一つとして、市内に本社を有する業者を対象とします。

多々納 剛人

がん医療水準の向上を

議員提案による「出

雲市がん撲滅対策推進



がん医療の水準向上に取り組む島根大学医学部附属病院

条例」が可決し成立した。本条例を尊重し、がん対策に向け、積極的な取り組みを期するものである。そこで四点について伺う。

地域のがん医療水準を向上させるため、来年度市が取り組む事業内容と予算額について伺う。

市民のがん検診受診率の向上を図るために、どのような措置を講ずるのか伺う。

島根県との連携について具体的な方策を伺う。

市長 条例を尊重し、積極的な予算措置を講ずるとともに、医療センターの役割を明確にします。

化学療法治療を行う専門医の養成研究費として島根大学医学部に對し、来年度二千七百万円の支援を計上しています。

乳がんや大腸がん検診を中心とした予算に、五千七十二万円を計上しています。がん検診の受診率向上を図る方法としては、土曜、日曜の検診導入を計画するとともに、事業所との連携をさらに強化します。

米山 広志

なぜ急ぐ古民家取得

平成十九年度一般会計予算の債務負担行為のうち、青少年活動拠点施設先行取得事業として、限度額七千万円および年利三%以内の利息が計上されている。

どこが取得するのか、手順をわかりやすく

施設の名称、事業目的と内容

平成二十年度からの事業予定

施設の管理団体

度に出雲市土地開発公社が土地・建物を取得し、市の具体的な構想が確定した段階で、公社から市が買い取り、施設を整備し、環境の整備をする計画です。名称はこれから検討します。新しい文化の営みの中での健全育成を図る拠点を整備したいという思いです。



子どもの命に直結し、子育て世帯の経済的負

担軽減策として要望の強い医療費助成制度の

萬代 弘美  
医療費助成、児童クラブの充実など  
安心して子育てできる施策を

には開発公社からの土地取得、拠点整備に向かいたいと思います。管理団体は、平成十

九年度中での調査検討会議の項目の一つとしてとらえています。



平成19年度に取得が決定した穴道邸



子育て支援策の充実を

思い切った拡充を実施するとともに、国による制度の創設で実現に向けた努力を。放課後児童クラブのない小学校区や、申し込みが増え、利用を断らざるを得ない児童クラブがある。遊びと生活の場にふさわしい施設設置基準を設け、施設整備の促進と、委託費の増額で指導員の処遇改善を求める。また、総合的の子育て支援として、子ども医療費無料化、児童クラブの充実は欠かせない切実な親

の願いであり、実効ある積極的な取り組みを強く求める。市長 子育て対策のキーポイントは、子育てにかかる経済的負担の軽減が大きな願いです。乳幼児医療費助成の拡大は、国の英断を待ちたい。待つだけでなく全国市長会の立場で働きかけます。放課後児童クラブの増設と環境整備については、今後、児童数の将来見込みや児童クラブの利用ニーズなどを把握しながら開設場所



そのあり方が検討されている出雲市立総合医療センター

原 隆利  
医療センターの運営形態は？

建物の老朽化もあいまって医療センターのあり方が検討されています。

るが、基本的改革案の方針を問う。

の確保に努めます。指導員の給料など処遇については、国の補助基準を上回る委託料の中で、運営委員会にゆだ

ねています。問題が出れば、さらに改善努力をするということまで支援助します。

**市長** センターの運営については、民間の医療機関では採算などの事情により実施できない医療などを提供していくことが、自治体病院の役割である。同時に、経営の健全化、効率化についても強く求められています。

運営経営体も検討のさなかですが、経営体の中心に市が必ずいて、「絶対大丈夫、安心し

てゆだねて欲しい」ということをモットーに考えねばならないと思っています。

担うべき機能としては、回復期のリハビリ医療、健康診断事業を強化しての予防医療の充実、高齢者の急性期医療の対応、診療所への支援と地域医療の充実、市東部の一次・二次救急医療体制の堅持の五つを考えています。

杉谷 寿之  
水産物流拠点施設整備計画を問う

平成十七年八月に「市魚流通市場検討委員会」が発足し、出雲市における新たな水産物の流通拠点施設の必要性が認められ、平成十八年度には、その基本計画を立ち上げることになっているが、年度末をひかえどのようになっているのか伺う。

また出雲水産流通プラザ（仮称）整備計画の試案が出されたが、施設の位置や既存施設との整合性に問題があ

る。そして施設の管理運営に対して市からJFしまねに対し、毎年三千万円近い経費の補てんが計上されている。レストランや魚直販所などは、実際に誰がやるのか具体的に説明されたい。

**市長** JFしまねでは平成二十二年に出雲市内の市場を廃止し、松江へ統合する計画でしたが、市としては出雲における魚の生産市場を確保しなければな

らないことや、観光交流のためにも必要だと考え大社漁港に整備することにしました。

施設の内容と運営管理については、もっと

具体的につめて議会に示したいと思います。総事業費は、約七億円かかり、運営費の補てんはある程度やむをえないと考えています。



大社漁港地内の産地市場

遠藤 力一

指定管理者制度導入後の問題点は

地方自治体を持つ公共施設の管理、運営の委託先として、民間企業などにも門戸を広げ

る指定管理者制度が、平成十八年四月に導入された。この制度の導入目的

は、導入後一年経過しての評価と検証は。また市民サービスにおいて問題はないか。

経営状況は、赤字施設は、どのような手を打つのか伺う。

経営、管理状況によって、職員を派遣される考えがあるか。この場合、職員定数内で行われるか、定数外とカウントされるか伺う。

**総務部長** 指定管理者が、民間企業などのノウハウを広く活用して、市民サービスの向上につなげていくことがこの制度導入の目的で、前年度に比べて約三千八百万円の経費節減になり、一定の実績を上げています。

経営状況は、利用料金などの収入によって必要経費がまかなえ、市が指定管理料を払っていない施設は、十四施設。赤字が出たという、穴埋めすることはありません。黒字の施設は、民間への移行なども視野に入れ検討します。

職員の派遣は、営利を目的としない財団などの公益法人だけが派遣の対象となっており、市が出資している第三セクターなどへの派遣をするものではありません。職員の定数上の取り扱いについては、派遣した職員も定数内に含めて管理していきます。

曾田 盛雄  
東部工業団地の利用状況は

本市発展の最重点施策は産業基盤の整備だと考える。合併して大きくなった出雲市が、今後生き残るためには、企業誘致を進めることが重要である。雇用の

場を作り優秀な人材を確保することが、将来の出雲市発展につながる鍵ではないのか。

平田の東部工業団地の利用状況について伺う。



産業振興部長



試運転が続く「出雲バイオマスエネルギープラント」

ライト工業が進んでいる「出雲バイオマスエネルギープラント」については、安全で確実な稼働を担保するために設置機器の稼働状況をの確認などの試運転を鋭意重ねています。新年度の半ば頃には、本格稼働に向けた諸整備が進められていくと聞いています。

本市では、他の地域に先駆けて、水素社会を構築するために取り組んでいます。水素エネルギーを利用したエンジンの研究施設の進出などについては、下関の水産大学や民間の企業グループが、水素エネルギーを利用した船舶の研究開発を進めています。宍道湖のしじみ船などにも活用できるのではとも考えています。

新年度には、株式会社出雲製茶が進出します。残りの二区画三ヘクタールの未分譲地に

ついては、積極的に誘致活動を展開していきます。

福代 秀洋

シカ捕獲計画頭数の完全実施を

弥山山地、湖北山地それぞれのシカ捕獲について、次の点を伺う。

十八年度の捕獲計画頭数と実捕獲頭数  
十九年度の捕獲計画



シカの適正頭数管理を

頭数

産業振興部長

弥山山地については、目標四百頭に対し、実績は三百四十九頭でした。目標に至らなかった理由として、ハンターの絶対数が少ないことがあげられます。湖北山地は全捕獲を基本にしており、実績は二十六頭でした。

弥山山地は目標頭数五百八十頭です。達成のため、捕獲体制の強化に努めます。

弥山山地の生息頭数は平成十七年が四百五

十頭、十八年が六百八十二頭で二百三十頭あまり増えたと推計されています。一方捕獲頭数は、目標に対し五十一頭不足している。適正頭数管理のため、捕獲目標の完全実施が必要であるが、今年五百八十頭を本当に捕獲できるのか。

産業振興部長

実施に向けて、猟友会との話し合いを進めています。目標達成に向けて、精いっぱい努力します。

山根 貞守

コミュニティセンターの運営を問う

昨年の四月から市内三十六カ所に新コミュニティセンターが誕生し、事業展開に大変熱心に取り組まれているが、次の点について伺う。

コミュニティセンター職員の任用期間を一年間としなければならぬ理由を伺う。

センターの職員は五名体制で対応するとあったが、現実には四名体制であり、年間七十日間の臨時職員で対応されている。現場での対応に問題がなかったのか伺う。

時間外勤務について平日に振替休日となっているが、うまく対応をされているのか伺う。

地域振興部長

基本的には現在の任用形態で対応を考えていますが、今後運営委員長会の意見などを聞きながら検討していきます。

本年度、河南四センターにおいて、土・日・祭日も開館対応をしています。今後支所のあり方も見すえながら職員体制についても

検討します。

コミュニティセンターの業務については、一カ月単位の変形労働時間制を採用しており、勤務体制を変更して業務の対応をすることができるようになっています。今後、事務処理研修などを行いながら、計画的な勤務体制となるよう努めます。



熱心に取り組まれているコミュニティセンター事業

長廻 利行

出雲阿國座整備を問う

阿國座については、平成となるや、その再建を掲げて、歌舞伎公演がスタートし、文化庁、島根県、出雲大社など、多くの協力によ

り、再建に向けた運動と歌舞伎公演が続けられ、合併を契機に実現することになった。この阿國座を全国発信するには、何よりも



歌舞伎のお練りでにぎわう神門通り

地域に愛される施設、地域の人が誇りに思う施設でない、外から来る人には感動を与えられない。早くから市民が阿國座の活用や運営に関して、積極的に参画していく必要がある。

この阿國座の影響は全市におよぶものであり、活動の輪を全市に広げていく必要がある。そのためにも、市長の強いリーダーシップにかかっているがいかか

市長 阿國座については、まず市民が歓迎し、市民が愛する劇場

石川 寿樹

入札制度の改革

施政方針で、新年度から郵便方式による一般競争入札制度を導入するとある。

透明性と公平性を確保するために、予定価格二百五十万円以上のすべての公共工事を一般競争入札の対象とし、かつ地区要件を原

でなくてはなりません。小・中学生、高校生も含めて、日本の伝統文化の本物を学ぶことにより、全国に輝く新しい日本の心の文化の拠点になると信じています。

また、国立劇場、松竹などのネットワーク化、人的ネットワークを構築することが重要です。さらに、阿國座の経営安定のための管理運営の仕組みづくりなど、これからこうしたソフト面の本格的な準備段階に入るところです。

則として、指名競争入札を撤廃する考えはないか。

本市の入札制度検討委員会は、助役をはじめとし、いずれも職員が構成メンバーとなっている。より市民の声を反映し公正を期すためにも、市民の代表や



外部の有識者を加えた組織に変更する考えはないか。

**市長** このたびの郵便方式による事後審査型一般競争入札は、土木工事では五千万円以上一億五千万円未満の半数、建築工事では三千五百万円以上三億円未満の全件を対象にしています。

全国知事会の指針では、一千万円以上を一般競争入札の対象とするとの提言もあり、今

後、問題点を精査し、対象範囲の拡大についても検討する考えです。

外部の方もいろいろな意見があると思いますが、一方でかたよった意見、特定の利害を代表する立場の方が入ることにより、混乱が生ずる可能性もあります。

したがって、客観性を保ちながら、どのような組織がよいのか、検討したいと思います。

松村 豪人

漁業に影響を及ぼす

「沿岸地域の磯焼け対策」をどうするか

「磯焼け」とは沿岸の岩礁域において、アラメやテングサなどの有用海藻が急激に枯れてしまう現象である。

すでに本市の沿岸地域からも報告されており、海藻を餌とするアワビやサザエなどの貝類の減少、ひいては沿岸地域の採貝漁業への影響を懸念している。

十年、二十年先を見

すえて、被害が拡大し手遅れになる前に、海への植樹、藻場の造成など対策を講じることが必要ではないか。

**市長** 平成十一年には環境省が、過去十三年間で、全国で六千ヘクタールの藻場が消失しているとの調査報告を行っています。

本市においては、昭和五十年代から各地域



磯焼けが懸念されている市内沿岸地域

の海岸で磯焼け現象が見られ始めましたが、現在一カ所当たり一ヘクタールを超える大規模な磯焼け現象はないという状況認識です。

現在、水産庁において磯焼けの原因と対策について調査研究を行っているところであり、今後、対策のガイドラ

インが策定される予定です。

本市としても、ガイドラインに注目しながら有効な対策など具体的に検討していきたいです。早速、現場の漁業者から意見を伺い、調査することにより、全市的な状況把握を行いたいです。

# 視察報告

建設水道委員会

岡山市・琴平町の街並み整備

2月1日～2日

岡山市の中心市街地は、昭和二十年の大空襲で大部分が焼失したということでしたが、その後、昭和四十年代から、大通りにゆとり

もらい、歩行者の休憩場所や植栽などが設けられていました。三十年以上も前から、予算を使わずに、「お願い」だけで街並みを

のある歩道空間を造る取り組みがなされました。

道路境界から一階部分は二・五メートル（一メートル以上、二階以上は一メートル以上）との基準を設け、民間負担で建物をセットバックして



整備されている琴平町門前町



最新の自治体広報事情について受講

「いずも市議会だより」は、広報委員が、企画・校正・編集作業を行っています。また、ホームページもその作成・更新作業を業者に委託することなく、委員の手で行っています。議員が直接携わることで、市民の皆さまに、より身近に議会を感じていただくとともに、議員自らの意識高揚のため、大きな効果があると考えています。

少しでも、議会広報の品質を

誘導してきた岡山市の根気には感心させられました。

また、岡山市の水道事業は、全国で八番目に開設された歴史ある水道で、通水一〇〇周年の記念事業として整備された水道記念館を視察しました。

最後に、琴平町の

前町は、照明灯の設置やインターロッキング舗装がなされ、明るく趣のある街並みに整備されていました。しかし、シャッターをおろしている店も多くあり、大社門前町と共通の課題があるように感じました。

(曾田 盛雄 記)

広報委員会  
広報協会横浜セミナーに参加

2月1日～2日

議会ホームページに「声の議会だより」を掲載

いずも市議会だよりは、視覚障害者の方にも読んでいただけるよう、音読ボランティアのみなさんにより音訳されています。広報委員会では、テープに録音されたそれらの音訳をデータ化して出雲市議会のホームページに掲載しました。パソコン上で音訳を聞くことができますので、幅広くご活用ください。

高め、また時代の流れに取り残されないように、「広報協会横浜セミナー2007」に六名の委員が参加しました。延べ十時間弱のセミナーでした。内容は、最新自治体広報事情、地域SNS、情報編集のルールとマナー、著作権・肖像権、不快な表現などです。それぞれの専門家からくわしく現状を聞くことができ、大変有意義であったと思います。受講をきっかけにして、「声の議会だより」を誕生させました。

(福代 秀洋 記)

編集後記

年月が経つのは早く、私たちの広報委員会も八号で任期を終えます。当初はとまどいもありましたが、福代広報委員長を中心に市民の皆さまにわかりやすい広報発行につとめました。今年の二月には、広報セミナーに二日間参加し、広報をとりまく最新事例、新しい広報のあり方、また、ルール、法律、表現方法などについて学びました。二年間、関係の皆さまご協力ありがとうございました。

(米山 広志)



市議会だよりの編集風景

議会に関する問い合わせは

〒693-8530 出雲市今市町109-1

出雲市議会事務局

電話(0853)21-6579 ファックス(0853)24-1720  
ホームページ <http://www.city.izumo.shimane.jp/>  
出雲市ホームページの中の「市議会情報」をクリック  
メール [gikai@city.izumo.shimane.jp](mailto:gikai@city.izumo.shimane.jp)

広報委員

- |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |      |     |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 寺田 | 荒木 | 長廻 | 多久 | 今岡 | 山代 | 米山 | 坂根 | 石川 | 多々 | 遠藤 | 大國 | 長岡   | 福代  |
| 昌弘 | 孝  | 利行 | 和康 | 一朗 | 裕始 | 広志 | 守  | 寿樹 | 剛人 | 力一 | 陽介 | 幸江   | 秀洋  |